

リピーター続出の人気公演！極上の演奏と軽快なトークを楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

芸劇ブランチ コンサート

清水和音の名曲ラウンジ



トップ・アーティストたちの豪華な共演！

日本を代表するピアニスト・清水和音が中心となり、偶数月に開催している人気公演も、2016年4月以来、おかげさまで好評のうちに7年目を迎えることができました。朝11時からの約1時間、東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、楽しくて本格的なコンサートです。

第38回 2022. 10.19(水)
「シューマン&ドヴォルザーク」

シューマン:3つのロマンス op.94 (Vn+P)
シューマン:幻想曲集 op.73-1 (Vc+P)
ドヴォルザーク:ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 op.87
出演者:小林 幸成 (Vn) 佐々木 亮 (Va) 笹沼 樹 (Vc) 清水 和音 (P)



小林 幸成 佐々木 亮 笹沼 樹

第39回 2022. 12.21(水)
「ブラームスのソナタ」

—オール・ブラームス・プログラム—
ヴィオラ・ソナタ 第1番 へ短調 op.120-1 (Va+P)
クラリネット・ソナタ 第2番 変ホ長調 op.120-2 (Cl+P)
出演者:佐々木 亮 (Va) 伊藤 圭 (Cl) 清水 和音 (Pf)



佐々木 亮 伊藤 圭

第40回 2023. 2.15(水)
「ピアノ・デュオの極み」

モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ 二長調 K.448
ブラームス:3つの間奏曲 op.117 (P・有吉)
ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 op.56b
出演者:有吉 亮治 (Pf) 清水 和音 (Pf)



有吉 亮治

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定:2,400円(各回・税込)
東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催:毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ:0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00~15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co.

検索



YouTube

チケット発売日

2022年6月29日(水)
(3公演同時発売)

チケット
取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <https://pia.jp/>(Pコード:10月公演・220-250、12月公演・220-252、2月公演・220-255)
ローソンチケット <https://l-tike.com/>(Lコード:32997) イープラス <https://eplus.jp/>

※新型コロナウイルス感染症に関わる政府ならびに東京都の示す方針、そのほかやむを得ぬ事情により、公演内容、客席配置等に変更や制限が生じる可能性があります。お連れ様と離れた席にお座りいただく可能性もございます。予めご了承ください。

各回の
聴きどころ第38回
10/19公演第39回
12/21公演第40回
2/15公演

東京交響楽団のコンサートマスターに就任した小林忋成が初登場です。笹沼樹は2月にカルテット・アマービレのチェリストとして出演しましたが今回は違った魅力を披露します。若い2人はシューマンの愛らしい小品をお届けします。そして佐々木亮のヴィオラが加わった才気溢れるドヴォルザークは必聴です。

ブラームスは「作品番号120」で2曲のソナタを残しました。この2曲は珍しいことに、ヴィオラそしてクラリネット両方のために書かれており、どちらの楽器でも演奏します。この芸術ランチコンサートでは、2017年2月公演で伊藤圭が第1番、2021年4月公演で佐々木亮で第2番を披露しています。今回は2人が入れ替わり清水和音と共にお送りします。

ピアノの有吉亮治が初登場です。今回はピアノ・デュオ曲を堪能頂きます。人気ナンバーワンのモーツァルト、そしてオーケストラ曲として有名なブラームスの「ハイドン・バリエーション」は2台ピアノが原曲です。2つの名曲を2台のピアノでお楽しみいただきます。そしてブラームス晩年の名作「3つの間奏曲」は有吉の演奏で沁みてください。

清水 和音 (ピアノ)
Kazune Shimizu (Piano)

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーブ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸術ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となる2021年春には「3大ピアノ協奏曲の饗宴」で、ベートーヴェンの「皇帝」チャイコフスキー第1番そしてラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露。秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。



全公演出演

©K.Miura

小林 忋成 (ヴァイオリン)
Issei Kobayashi (Violin)

東京藝術大学大学院およびベルリン芸術大学大学院修了。Gyrfas Competition 2019 (ベルリン) 最高位、青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール、松方音楽賞ほか入賞受賞多数。野村財団、ロームミュージックファンデーション、明治安田QOL文化財団、ヤマハ音楽振興会等奨学生。NYCカーネギーホール、「東京・春・音楽祭」、V.レービンが監督を務める「トランス＝シベリア芸術祭」、「MAROワールド」、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。2014年にはM.ヴェンゲローフとバッハの二重協奏曲のソ



10月出演

リストとして、また「ヴェンゲローフが選んだ日本の若手ソリスト」として共演。2019年にはベルリンにてドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレに才能を高く認められ、読売日本交響楽団と共演。銀座王子ホールのレジデント「ステラ・トリオ」メンバー。各楽団のゲストコンサートマスターとしての活躍を経て、現在、東京交響楽団コンサートマスター。

佐々木 亮 (ヴィオラ)
Ryo Sasaki (Viola)

東京藝大附属高校、東京藝術大学、ニューヨーク・ジュリアード音楽院出身。室内楽コンクールで優勝など多数。全米各地にて活動後、2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。東京藝術大学、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学にて後進の指導にも当たっている。



10、12月出演

笹沼 樹 (チェロ)
Tatsuki Sasanuma (Cello)

2022年第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ARDミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門第3位。ニューヨークのYoung Concert Artists International Auditionで第1位。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。ソロでは東京音楽コンクール第2位、日本音楽コンクール入選。室内楽奏者としても横浜国際、ルーマニア国際、サルツブルク＝モーツァルト国際などのコンクールで優勝。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業後、桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部卒業。同校で2017年6月に天皇皇后両陛下をお迎えしての天覧公演となったリサイタルシリーズは毎年開催されている。桐朋学園大学大学院修了。NHK交響楽団アカデミー生修了。2019年1月にはデビューCD『親愛の言葉』（日本コロムビア レコード芸術特選盤）をリリース。大きな話題となる。V.アダミアラ、古川展生、堤剛の各氏に師事。カルテット・アマービレ、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバー。使用楽器は1771年製 C.F.Landolfi (宗次レクシオン)。



10月出演

©Taira Tairadate

伊藤 圭 (クラリネット)
Kei Ito (Clarinet)

宮城県出身。東京藝術大学卒業。第6回日本クラリネットコンクール第1位。第74回日本音楽コンクール入選。2019年「天皇陛下 御即位30年 奉祝感謝の集い」において 特別奉祝演奏 (W.A.モーツァルト クラリネット協奏曲) を務める。これまでにクラリネットを千石 進、日比野 裕幸、野田 祐介、山本 正治、三界 秀実、村井 祐児の各氏に師事。現在、NHK交響楽団首席クラリネット奏者。東京音楽大学兼任准教授、東京藝術大学、国立音楽大学講師。



12月出演

有吉 亮治 (ピアノ)
Ryoji Ariyoshi (Piano)

東京藝術大学在学中に日本音楽コンクール第1位。その後、文化庁新進芸術家海外研修員及びローム ミュージック ファンデーション奨学生としてジュネーブ高等音楽院に留学。在学中より日本シヨパン協会主催例会リサイタルをはじめヨーロッパ各地、中東など国内外で演奏活動を行う。また、ラ・フォル・ジュルネ、東京・春・音楽祭、ヴィオラスペースなどに出演し著名演奏家と共演。現在、桐朋学園大学准教授。



2月出演

芸術ランチコンサート

—— 清水和音の名曲ラウンジ ——

2023年度上半期予定

第41回 2023年 4/19(水)

第42回 2023年 6/21(水)

第43回 2023年 8/16(水)